

留 学 報 告 書

作成日:2018年3月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フロリダ州立大学 現地言語: Florida State University
留学期間	2017年7月～2018年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月9日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
プログラム費用	60ドル	60万円	
保険料	1,000ドル	10万円	
授業料		円	プログラム費用内
宿舍費	2,000ドル	20万円	
生活費	1,120ドル	12万円	
食費	2,000ドル	20万円	
渡航旅費	3,000ドル	30万円	
その他		円	
合計	9,180ドル	152万円	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
寮
2)滞在費
週100ドル
3)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数3人)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> その他(リビング)
5)住居を探した方法:
インターン先の指定
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私の滞在していたチャタムスクエアアパートメントは、とてもきれいでバス停にも近く便利でした。プールや小さいジムもあり、リフレッシュによく利用していました。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した:
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> した (利用したのは明治大学で加入したもの) <input type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input checked="" type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
体調不良で病院を探す時、明治大学で加入した保険窓口で電話しました。不安な中、日本語で対応してくれたので安心しました。
5)現地の治安はどうでしたか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
オーランドの治安はとてもよかったです。夜中に一人で出歩かないことや、貴重品を常に身に着けるといった注意はしていました。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮のWi-Fiは時々つながりませんでした。しかしディズニー内や市内は至る所にWi-Fiがあるため、特に気になりませんでした。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
インターンのお給料で生活していました。お給料は配られたカードの口座に1週間ごとに振り込まれます。お土産などのために日本の口座のクレジットカードも時々使用していました。
8)利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば入力してください。
大きなスーパーが近くにあり、特に不自由はありませんでした。S字フックがあると便利です。(アメリカには売っていません)
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
渡航前に大学から指示があり、クレジットカードで支払いました。
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。
生活に関して大きな問題となるのはルームメイトについてだと思います。こればかりは相性があるので、気楽に構えたほ

うがいいと思います。

渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。

ビザの種類(F-1・J-1 など): J-1

2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。

なるべく早くビザ取得のための面接に行くこと

3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)

約 14 日

4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)

出国: 2017年7月29日

帰国: 2018年1月9日

5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)

成田→アトランタ→タラハシー、オーランド→デトロイト→成田

6)現地での出迎え

有 () 無

7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容

10 日間 FSU にて授業、その後ディズニーにて二日ほどオリエンテーションに参加し、ジョブトレーニング開始。

卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。

英語力に自信がついたことで、英語を使った仕事に就きたいという気持ちが大きくなった。

2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点

就職活動に活かせるエピソードなどは忘れないようにメモをしていました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
SPC 4710 Intercultural Communication	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	

感想を自由に述べて下さい	
--------------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
COM 3930 Applied Intercultural Communication	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Robert Hughes
授業内容	FSU のキャンパスと寮で講義が行われました。文化の違いについて意見を交換します。
試験・課題など	オンライングループディスカッションと、エッセイの提出が3回ありました。
感想を自由に述べて下さい	韓国やカナダのこと同じグループになり、それぞれが職場で経験した文化の違いを共有することで、自分にはない新たな視点を発見することができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
COM 4945 Intercultural Communication Practicum	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(4)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Robert Hughes
授業内容	実際の仕事を通して、英語スキルや責任感を学びます。
試験・課題など	最後にレポートが1つあります。
感想を自由に述べて下さい	半年間のインターンシップ自体がこのクラスに当てはまります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
COM 3933 Corporate Social Responsibility	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(4)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Toby Graves
授業内容	Disney Citizenship Report Summary について学びます。

試験・課題など	4回のエッセイ提出があります。
感想を自由に述べて下さい	ディズニーが取り組んでいることをきちんと学ぶことによって、働き方にも違いが出てくると思うため、良かったです。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学申し込み決意
8月～9月	TOEFL iBT 対策
10月～12月	TOEFL iBT 受験、学内選考に向けた書類準備
2017年 1月～3月	学内選考、面接
4月～7月	諸手続き(費用の支払い、ビザ取得、保険など)
8月～9月	インターンシップスタート
10月～12月	ジョブローテーション
2018年 1月～3月	インターンシップ終了
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと特に英語が好きになく、海外の大学で勉強することにあまり興味はありませんでした。ところが、大学生活の中で自分の将来を考える中、接客の仕事に興味を持つようになりました。そこでディズニーのプログラムなら、英語もホスピタリティも学ぶことができると気づき、応募を決意しました。学内選考や留学準備は想像以上に大変でしたが、将来の夢のためという明確な目標を持っていたので、最後まであきらめずに取り組むことができました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私は TOEFL のスコアがなかなか基準に届かず、応募期限ギリギリまでテストを受験していました。そもそも応募もできないかもしれない、という状態で書類を準備するのはとても不安で焦りを感じました。是非今後、応募を考えている皆さんには、早めの受験とスコア取得をおすすめします。また、私が TOEFL 受験に遅れをとった理由の1つに、受験より勉強を優先したことがあると思います。もちろん勉強も大切ですが、TOEFL は慣れもスコア取得に大きく関わると思うので、まず受験をして対策を考えるのが良いと思います。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	フェイスブックはインターンシップ生活で情報を仕入れるのに必須です。仕事に関する情報はディズニーが用意してくれるサイトで確認できますが、同僚同士で仕事の交換などをフェイスブックを通じて行うからです。前年に参加した人たちがどこで遊んでいたのか、なども収集できます。また日常会話で新しい単語に出会うことがたくさんあります。その都度意味を細かく辞書などで確認すると、語彙が増えると思います。
この留学先を選んだ理由	留学を決意した理由と重複するかもしれませんが、私はもともと海外の大学で英語を使って専門分野を勉強したいという考えは、あまりありませんでした。しかし、アルバイトや授業を通して接客の仕事に興味を持ちました。ディズニーインターンシッププログラムでなら、英語とホスピタリティを同時に楽しく、経験しながら学べると考え、応募しました。机で勉強することが得意でない私にとって、働きながら学べるこのプログラムはとても魅力的でした。
大学・学生の雰囲気	世界中から大学生が集まって同じ寮に住み、働きます。大学生といっても年齢は様々です。私のルームメイトはたくさんインターンシップやボランティア活動を行っており5歳ほど年上で、私の知らないことをたくさん教えてくれました。様々な国から大学生が集まっているのもこのプログラムの特徴で、英語だけでなくほかの言語を学ぶ機会も多くありました。皆、ディズニーで学びたいという共通の志を持って参加しているからか、親切で明るく楽しい人ばかりでした。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	6人部屋の2ベッドルームという寮で過ごしていました。3人1部屋で、2段ベッドが1つ、ベッドが1つありました。私は日本の友達1人と相部屋を希望していたので、アメリカ人1人、日本人2人で1部屋を使っていました。最初は緊張した生活でしたが、すぐに新しい環境に慣れました。ただ、やはり初めてのルームシェアは戸惑うことばかりで、洗面所やトイレを使いたいときに使えない不便さは最後までありました。また、キッチンを使い方などについて6人で話し合いを何度かし、ルームシェアの大変さを学びました。
交友関係	私は半年間という短い期間を充実させるために、同じ大学の日本人の学生となるべく関わらないことを念頭に置いていました。その結果、職場にたくさん友人ができ、プログラム中、仕事終わりやオフの日など、頻りに遊びに出かけていました。仲良くなると、仕事も行るのが楽しみで長時間シフトも全く苦になりませんでした。そのうちの何人かは今でも SNS を通してやりとりをする中です。また1人のオーストラリアの子とは意気投合し、プログラム中や終了後、何度か旅行に行くほど仲良くなりました。5か月後にも旅行に行くことが決まっていて、今から会うのが楽しみです。
困ったこと、大変だったこと	ディズニーで実際にインターンシップが始まったころは、分からないことばかりで戸惑いもありませんでした。英語も慣れていなかったのも、聞きとるのに必死でした。しかし、時間が経つにつれ英語環境に慣れ、いつの間にか自然と英語を受け入れられるようになりました。私がプログラム中で一番大変だと感じたことは、体調管理です。突然、脇腹の痛みに見舞われ病院を受診したときは、とても不安でした。また、風邪を引いた時も仕事があったので、体調管理の大切さを学びました。
学習内容・勉強について	特に、ディズニーが会社として取り組んでいることについて学び考える授業が印象に残りました。この授業の課題レポートに取り組むことで、実際に働いている際に、様々なところでディズニーの努力を発見することができるからです。また、このプログラムならではの、グループディスカッションもよかったです。半年間、韓国やカナダの学生と、仕事を通して学んだ文化の違いや経験から感じたことを共有したことは、新しい価値観を得ることや心の支えに繋がりました。

課題・試験について	課題は想像以上に多く、勉強と仕事と遊びの両立がとても大変でした。ほぼ毎週課題があり、グループディスカッションなど比較的軽いものと、字数制限のあるエッセイなど重いものが交互にあったと思います。プログラム終盤は、ホリデーシーズンによりシフトがたくさん入っていたり、現地でできたたくさんの友人と遊ぶ約束があったりと本当に忙しく、あつという間に毎日が過ぎ去り、課題がとても辛かったので、もっと早くに取り組んでいれば良かったと後悔しました。
大学外の活動について	大学の授業以外にやっていたことは仕事なので、仕事について書きたいと思います。私は同じパーク内で2つのジョブを経験しました。はじめはマーチャンドイス、2つ目はフードスタンドで働いていました。トレーニングが5日間ほどあって、その5日間はコーチと一緒に行動しつきっきりで仕事を教えてもらいます。その後は1人で同僚と一緒に働くこととなります。実際に働いてみないとわからないことが多くありますが、同僚は皆とても親切に教えてくれるので不安は感じません。
留学を志す人へ	私は留学に行く前、初めての長期海外滞在や英語環境で働くことをとても不安に感じていました。しかし実際に行ってみると、もちろん悔しいこと、悲しいこと、気まずいと感じることはたくさんありましたが、総じて楽しかったの一言に尽きます。毎日があつという間に過ぎてしまい、帰るころにはもつといたい、と思うほどでした。この留学で得たものは、英語力や仕事の経験はもちろんですが、私にとって一番は、一生の友人ができたことです。行く前は全く想像していなかったことです。もし興味があるのであれば、またそれに明確な理由があれば、留学はとても意味あるものになると思いますし、私のように思いがけなく得るものがあるかもしれません。新しい挑戦の環境であるからこそだと思います。

1 週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		オフ		シフト 8-16	ジム	オフ	
	シフト 10-17	課題、家事	ジム、友人 と朝ごはん		シフト 11-20		ジム
午後		友人と遊び に行く	シフト 15-21			友人と遊ぶ	シフト 13-21
夕刻	友人と夜ご 飯	スーパーに 買い物		友人と夜ご 飯、課題		FSU 授業	
夜	ジム						